

国際交流基金賞受賞者来日記念レクチャー
日本とメキシコをつなぐ～
タンブッコと
日本の新進作曲家たちの挑戦

〔日時〕 2013年7月5日(金)
レクチャー19:00～20:30
(受付18:30～) ※レクチャー後、簡単な交流会を予定しています
※スペイン語逐次通訳有

タンブッコ・パーカッション・アンサンブルは、4人の傑出した打楽器奏者からなるメキシコを代表するパーカッション・グループとして世界中で活躍しており、2011年度国際交流基金賞を受賞しました。

この時の来日を契機として、タンブッコは日本人の新進気鋭の作曲家らと本格的な交流を開始し、今年2月、作曲家の池田拓実、木下正道、樫山智子、渡辺俊哉の4人をメキシコに招き、タンブッコが演奏する新曲を創作するというプロジェクトを3週間にわたり共同で行いました。タンブッコと日本の新進作曲家たちにとって、この共同作業は、新しい作品を生み出す機会となり、さらなるステップ・アップにつながるものと思われます。

このたび、タンブッコの来日にあわせ、タンブッコのメンバーとメキシコでの創作に参加された日本の作曲家たちに今回の共同作業がどのように進んだのか、お話いただきます。是非、ご来場ください。

〔会場〕

国際交流基金 JFICホール[さくら]
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

〔講演者〕

TAMBUCCO PERCUSSION
ENSEMBLE
タンブッコ パーカッション アンサンブル
& 池田拓実(作曲家)／木下正道(作曲家)
樫山智子(作曲家)／渡辺俊哉(作曲家)



東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅 1番出口から徒歩3分

先着順
入場無料

タンブッコ プロフィール

タンブッコは、1993年、4人の傑出したメキシコ人打楽器奏者により結成された。以来20年間、数々の公演とレコーディングにおいて打楽器作品の地平を拓く膨大なレパートリーを展開、独自のプログラムは幅広く聴衆の耳を楽しませ、世界屈指の打楽器アンサンブルとしての高い評価を確立している。レパートリーには武満徹、石井真木、近藤譲など日本の作曲家の作品も多く、松尾祐孝は2005年タンブッコのために「音 音 IV ～尺八、二十絃琴、打楽器群の為に～」を作曲。タンブッコは、これら日本の文化芸術の海外への紹介や発信に大きく貢献したとして、2011年度国際交流基金賞を授与されている。



ラウル・トゥドン
Raúl Tudón

リカルド・ガラルド
Ricardo Gallardo
Artistic Director

アルフレッド・ブリンガス
Alfredo Bringas

ミゲル・ゴンザレス
Miguel González

お申込は下記のサイトより、ご氏名、ご所属、ご連絡先(お電話、E-mail)を明記の上、お申込ください。

<http://www.jpjf.go.jp/j/about/new/1306/06-02.html>

お問い合わせ: Tel: 03-5369-6075(国際交流基金情報センター) e-mail: kikinsho@jpjf.go.jp



JAPAN FOUNDATION